

中心市街地に 複合型施設 を計画します

平成32年度中 供用開始をめざします

企画課

「複合型中心拠点誘導施設」の整備構想を12月に公表しました。



2/15 (木) 19:00~

こもろプラザ2階
ステラホール

施設イメージ

※あくまでもイメージであり、
確定された計画ではありません。



▶複合型中心拠点誘導施設とは？なぜ必要か？

市では、深刻化する少子高齢化、人口減少問題に対して、高齢者をはじめとする市民の皆様が生活に欠かせない各種サービスを受けられるまちづくりが求められています。
そこで、公共交通の利便性が高い小諸駅周辺地域に、賑わいを創出することのできる商業施設や福祉施設等を計画的に誘導するとともに、各地域との公共交通を充実させる「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の施策に取り組んでいます。高齢化により車の運転ができなくなる人が増えるなかで、都市機能を集約した中心部を形成し、中心部と市内各地域が公共交通でしっかりとつながれば、市内全域の暮らしやすさの向上が期待されます。

これまでは、市庁舎一帯に、図書館や市民交流センター、こもろ医療センターの整備を進めてきました。
これからは、以下の点が重要となっています。

- ・高齢者や子育て等における多様なニーズに対応する場の整備（福祉施設）
- ・駅周辺地域のスーパーマーケット休業に伴う「商業施設の確保」
- ・コミュニティバスであるこもろ愛のりくんの安全なターミナル（乗り換え場・待合室）の確保
- ・ピーク時に対応した「公共駐車場」の確保

土地の有効利用および利便性の観点から複合化した「複合型中心拠点誘導施設」を計画し、将来にわたる暮らしやすさの確保を図っていきます。

▶いつまでに作るのか？進め方は？

施設整備にあたり、複合型施設の基本計画（施設の規模や費用、スケジュール等）を平成30年8月に策定する予定です。基本計画の策定に際しては、市民の皆様からご意見を伺い、関係機関と協議を進めていきます。
平成30年度では、道路の整備も並行して進めていきます。
平成31年度には施設整備に着手し、平成32年度中には施設の供用開始をめざします。
現在、概算事業費として29億円を想定しています。

UR都市機構（独立行政法人都市再生機構）・(株)URリンケージと「多極ネットワーク型コンパクトシティによる都市再生に関する基本協定」を締結しました。

この協定は、健康・福祉や教育など様々な政策分野と都市計画が連動した「都市再生」に関する課題に対応するため、全国で都市再生の支援に取り組むUR都市機構及び(株)URリンケージと相互協力することを目的としています。両者からは、計画立案に必要な助言や具体的な事業への技術的支援等を受けるものです。



【こもろ愛のりくんご利用の皆様へ】

ツルヤ小諸店休業に伴い、平成30年2月から「愛のりくん」の運行の一部が変更されます。

- ・ツルヤ小諸東店（御幸町）が全エリアから直接乗降可能
- ・デリシア小諸インター店（諸）が西小諸・大里エリアのほか中央東部・菱野エリアからも直接乗降可能
- ・スーパー西友（小原）が南大井・三岡エリアのほか川辺エリアからも直接乗降可能

都市計画課 都市計画係